



平成 27 年 5 月 8 日

各 位

上場会社名 シンクレイヤ株式会社
代 表 者 代表取締役社長 山口正裕
(コード番号 1724)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 國江敏
(TEL 052-242-7875)

業績予想値と決算値との差異及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 8 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。併せて配当予想につきましても修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想値と決算値との差異について

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想値と決算値との差異（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,450	250	210	140	38.48
今回発表実績 (B)	8,041	△162	△168	△682	△187.57
増減額 (B-A)	△408	△412	△378	△822	
増減率 (%)	△4.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	8,434	114	133	47	13.16

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想値と決算値との差異（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,800	230	200	120	32.98
今回発表実績 (B)	7,547	△129	△123	△638	△175.60
増減額 (B-A)	△252	△359	△323	△758	
増減率 (%)	△3.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	7,958	86	117	54	15.03

差異の理由

当社グループの主要取引先はケーブルテレビ事業者であり、同事業者の設備投資計画は概ね期初に行い、施工業者の選定・発注の後、年度末までに完成するのが通例になっており、当社グループの売上高は特に第4四半期に占める割合が多くなり、通常上期が赤字、下期が黒字となります。

売上高につきましては、受注した大口 FTTH 工事等の売上計上が一部次年度以降となったことから、前回予想をやや下回りました。

営業利益及び経常利益につきましては、全体的には市場競争激化に伴う粗利率の低下に加え、市場環境変化による工事材料に占める自社製品の減少、大型工事案件の工期長期化、円安による原材料コストの増加要因が重なり、前回予想を大幅に下回る赤字となりました。

当期純利益につきましては、業績結果を受け繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の大部分について取崩しを行うこととなり、前回予想を大幅に下回りました。

末尾記載の「四半期別業績推移」のとおり、平成 27 年 3 月期では第 3 四半期以降の受注高が大幅に増加、第 4 四半期の売上に計上すべく営業努力してまいりました。しかしながら売上の一部が来期にずれ込んだ事に加え、第 4 四半期の工事総利益率が見込を 3%弱下回り、販売管理費の圧縮に努めましたが、営業利益、経常利益とも見込を大きく下回る結果となりました。

[部門別利益の状況]

当社グループの事業は、ケーブルテレビ事業者に対して、その施設の構築に関し、システム全体を効率的にまとめ上げ、システム設計、機器の選定、施工、保守管理等を行う「トータル・インテグレーション部門」と、システム全体の分析や設計、機器選定を行ったうえで機器のみを提供する場合や、ケーブルネットワークの構築後、施設の拡張等により必要となる機器を継続的に提供する等の「機器インテグレーション部門」があります。

当連結会計年度における各部門の業績は、次のとおりであります。

単位：百万円

事業部門	平成 26 年 3 月期			平成 27 年 3 月期		
	売上高	売上総利益	同率	売上高	売上総利益	同率
トータル・インテグレーション部門	5,942	1,262	21.2%	5,871	966	16.5%
機器インテグレーション部門	2,491	577	23.1%	2,169	447	20.6%
合計	8,434	1,839	21.8%	8,041	1,414	17.5%

(トータル・インテグレーション部門)

受注した大口 FTTH 工事等の売上計上が一部次年度以降となったことにより、当部門の連結売上高は 5,871 百万円と前年同期に比べ 70 百万円（前年同期比 1.2%減）の減収となりました。

売上総利益につきましては、市場環境変化による工事材料に占める自社製品の減少、大型工事案件の工期長期化により、前年同期に比べ 296 百万円の減益となり、総利益率は 4.7%ポイントの減少となりました。

(機器インテグレーション部門)

一般的に工事受注となる案件が多かったことにより、当部門の連結売上高は 2,169 百万円と前年同期に比べ 322 百万円（同 12.9%減）の減収となりました。

売上総利益につきましては、円安による原材料コストの増加要因により、前年同期に比べ 130 百万円の減益となり、総利益率は 2.5%ポイントの減少となりました。

● 配当予想の修正について

	年末配当金				
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成26年5月8日発表)	—	0.00	—	6.00	6.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成26年3月期)	—	0.00	—	3.00	3.00

修正の理由

当社グループでは、株主の皆様への長期安定的な配当を維持し適正な利益還元を維持することが企業の基本責務であり、経営の最重要施策のひとつとしておりますが、前述のとおり通期の業績予想が極めて厳しいことから、平成27年3月期の期末配当につきましては誠に遺憾ながら、無配といたします。

なお、本件は平成27年6月下旬開催予定の第53期定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定であります。

[四半期別業績推移]

単位：百万円

		平成 26 年 3 月期			平成 27 年 3 月期			前年同期比		
		業績	受注高	受注残	業績	受注高	受注残	業績	受注高	受注残
第 1 四 半 期	売上高	1,228	2,124	2,546	1,461	2,408	3,133	233	284	587
	売上総利益	131			188			57		
	売上総利益率	10.7%			12.9%			—		
	営業利益	△314			△258			55		
	経常利益	△310			△254			56		
第 2 四 半 期	売上高	1,967	2,818	3,397	1,964	1,691	2,861	△3	-1,126	-536
	売上総利益	418			257			△161		
	売上総利益率	21.3%			13.1%			—		
	営業利益	△41			△177			△135		
	経常利益	△46			△184			△138		
第 3 四 半 期	売上高	2,507	1,686	2,576	1,986	3,165	4,040	△521	1,479	1,464
	売上総利益	584			366			△217		
	売上総利益率	23.3%			18.4%			—		
	営業利益	193			28			△164		
	経常利益	196			24			△171		
第 4 四 半 期	売上高	2,731	2,342	2,187	2,629	3,740	5,151	△102	1,397	2,964
	売上総利益	705			601			△103		
	売上総利益率	25.8%			22.9%			—		
	営業利益	277			244			△32		
	経常利益	294			246			△47		
通 期	売上高	8,434	8,971	—	8,041	11,005	—	△393	2,034	—
	売上総利益	1,839			1,414			△425		
	売上総利益率	21.8%			17.6%			—		
	営業利益	114			△162			△276		
	経常利益	133			△168			△301		

以 上